



人・街・ながた 震災資料室だより

人・街・ながた
震災資料室 発行
〒653 神戸市長田区北町3-4-13
電話(078)579-2311
発行人/寿 広文
編集人/武川・福谷

第11号

もくじ
1 旧区役所避難所の資料提供
鳥取→二葉小、訪問交流
2 小田原市から

旧区役所避難所資料

提供はリーダーの西田弘明さん

このたび旧区役所避難所の資料が当資料室に寄せられました。提供してくれたのは、当時リーダーをされていた、現在、東尻池仮設住宅に居られる西田弘明さん(六四才)です。
西田さんは震災の日には、奥さんと加古川へ行っていましたが、タクシードで6時間かけて長田区へ帰ったが、家はすでに焼けてしまっていたそうです。
資料には住民集会のチラシやボランティアに来てくれた少林寺拳法連盟の皆さんの手紙やけましの絵、そして炊き出しの写真など約50点です。
旧区役所避難所は最大時八六〇人が生活をされてい、八月二〇日に待機所となり、今年四月一五日に閉鎖となりました。
この建物も近々解体される予定です。

みなさんからの資料の提供を、ひき続いて
お願いいたします。
ご連絡をおまちしています。

職員情報誌 Ellenra



今年も防災の日がやってきます。大地震の発生が心配されている今、もしも地震が発生した場合に、あなたが市職員としてとるべき行動を改めて考えてみましょう。

次の4つの質問は大地震発生時に市内に在住の職員Aさんが市役所に参集するまでに遭遇するであろう状況を記したものです。
これらの状況に対してあなたならどのように対応するのかAさんと一緒に考えながら市役所までたどり着いてください。

- ・平成9年8月31日、日曜日、午後5時に大地震が発生しました。Aさん(配備職員以外の職員)は市役所に行かなければならないと思いましたが、自主登庁する時の基準はどのようなものでしょうか?
- ・Aさんは家族の安否を確認したので、市役所に向かう準備を始めました。その時、あなたなら何を持っていきますか?
- ・準備が整ったAさんは早速自転車に乗り、市役所に向かいました。しかし、川にさしかかった時、橋が壊れていて、向こう岸にある市役所へ行くことが出来ないと判断しました。あなたなら、どうしますか?
- ・ところが幸いなことに、壊れていない別の橋を見つけました。Aさんはその橋を渡り市役所へと急ぎました。そこでAさんは、家屋が倒壊し、火災が発生して、負傷者がいるのを発見しました。あなたなら、どうしますか?



ようやく市役所にたどり着きました。次の3つの質問はAさんが応急活動で遭遇するであろう状況を記したものです。
これらの質問について、あなたなら、どのように対応しますか?

- ・Aさんは係員ですが、Aさんの課ではまだAさん1人しか参集していません。しかも所属長も係長もしばらく登庁できない状況であるとの連絡がありました。あなたなら、まず何から始めますか?
- ・市役所は電話が比較的早く復旧するので、課内に5台ある電話がすべて鳴り始めました。そこでAさんは他課に応援を求めようとしています。あなたならどのように対応しますか?
- ・Aさんが1本の電話を取ると、親戚の安否を教えて欲しいとのことでした。Aさんは電話をタライ回ししてはいけないと判断したうえで、対応しました。あなたなら、どのように対応しますか?

ようやく、所属長や係員も登庁してきました。市民からの問い合わせに対する対応や応急対策の実施もスムーズに行われることでしょう。

小田原市から

第10号でお知らせしました小田原市の職員情報誌「えれんな・39」の一部をご紹介します。具体的な設問ですが、あなたならどうされますか?





避難所の一日のスケジュール

時刻	スケジュール	備考
7:00	起床/ガスコンロ使用開始	6:00 朝食
8:00	ラジオ体操 部屋の一斉換気	6:30 パン焼入
9:00	トイレ・部屋の清掃 / トイレの水の補給	7:00 洗濯機
10:00	<< 物資の配給 >>	7:00 洗濯機 (10分)
11:00	職員会議	7:30 洗濯機 (10分)
12:00		8:00 洗濯機 (10分)
1:00	部屋の一斉換気	8:30 洗濯機 (10分)
2:00		9:00 洗濯機 (10分)
3:00		9:30 洗濯機 (10分)
4:00	トイレ・部屋の清掃 / トイレの水の補給	10:00 洗濯機 (10分)
5:00	部屋の一斉換気、物資の配給(時間は未定)	10:30 洗濯機 (10分)
6:00	救護室の一般診療終了	11:00 洗濯機 (10分)
7:00		11:30 洗濯機 (10分)
9:00	ガスコンロの使用終了(元栓の確認)	12:00 洗濯機 (10分)
9:55	消火/緊急放送以外の放送終了	12:30 洗濯機 (10分)
10:00		13:00 洗濯機 (10分)

下線の放送を不願いします。

他の避難所では、12:00(正午)に洗濯機が壊れたため、神楽小は11:00から全体会議(運営地域)があったため、11:00 引き上げるとし、13:00、2期ほどに会議は出席すること。

い交流を深めた後、仮設住宅、仮設店舗等が並ぶ商店街を見学しました。

二葉小の校長先生は、「この学校には、地域型仮設住宅で生活している子供たちや火災で焼け出された子供も多く、学校で子供たちが頑張っている姿を地域へ発信することが、暮らしと心の復興につながっていく

くことになるのでは」と交流の成果に期待されています。

船岡小の中塚君は「火事等で壊滅的な街の様子をテレビで見ましたが、ここがその場所であるとは今では考えられません」と復興ぶりに感心していました。

学童疎開・震災が縁で交流

鳥取の小学生が二葉小学校訪問

汗ばむ陽気の十月二十三日昼に鳥取県の船岡小学校五年生三十五名が長田区の二葉小学校を訪れました。小学生と一緒に戦時中疎開した経験のある六十二歳の卒業生の姿も見られました。

今回の震災体験交流集会は、阪神大震災で船岡町から炊き出しや義援金が届いたのをきっかけに交流の機運が盛り上がり、今年六月、二葉小が船岡小を訪問したのに引き続き実施されたものです。

二葉小と船岡小の出会いには五十年前にかかのぼる。太平洋戦争が敗色濃くなってきた昭和十九年九月から二葉国民学校の児童が船岡国民学校へ疎開をしていた経過があります。

学童集団疎開をしていた山本喜代治さん(六十二歳・当時 駒ヶ林一丁目在住)は「昭和十九年九月から、一年二ヶ月間、当時の



船岡村で暮らしました。最初は学校の裏側の旅館で寝起きしたが、その後お寺へ移り船岡国民学校で勉強をした」とのことです。

JR新長田駅南の方面にある二葉小の校区は、大正筋商店街が大火に見舞われて民家や商店が焼失。震災二日後、船岡町からわざわざ駆けつけ、二葉小でブタ汁の炊き出しと町民がカンパした義援金約二百万円も届いた。二葉小は、避難所となり、最大時には避難者が四千五百人・就寝者八百人と多数の被災者が利用しました。また、震災時約三百八十人いた生徒が二百八十人に減ってしまいました。二葉小ではお礼と自然体験学習を兼ねて今年六月、二葉小の五年生五十二名が鳥取県八頭郡船岡町の船岡小学校を訪問しました。

この日、二葉小で子供たちは、学童疎開者の話を聞いたり、震災時の体験を語りあ